

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年8月28日

1. mRNAワクチン免疫：吸入ステロイド使用で低下せず、喫煙では低下：吸入ステロイドはしっかり続けよう！タバコは止めよう！
2. 日本の新型コロナ感染者数推移（東工大牧野淳一郎先生データ）

【松崎雑感】

1. 神戸の中島クリニック中島先生と神戸大学のチームの論文です。免疫を下げるステロイドホルモンといっても、吸入ステロイドは、ワクチン免疫を全く下げないという事です。安心しました。また、喫煙はワクチン接種による抗体価をほぼ半減させることが改めて証明されました。
2. 現在世界で最多レベルの感染者数となっている日本です。ウイルスの弱毒化とワクチン免疫の拡大により、死亡数は大きく抑えられていますが、ロングコロナによる体調不良で以前の社会生活を取り戻せない方が、世界全体で数千万人おられることが大きな問題です。

松崎道幸 道北勤医協ながやま医院 matsuzaki-m@dohoku-kinikyo.or.jp

mRNAワクチン免疫：吸入ステロイド使用で低下せず、喫煙では低下：吸入ステロイドはしっかり続けよう！タバコは止めよう！

Nakajima T, Nagano T, Miyata Y, et al. **Inhaled corticosteroids do not affect the antibody titer against the SARS-CoV-2 spike protein in BNT162b2 mRNA vaccinated patients.** *Allergy Asthma Clin Immunol.* 2022;18(1):78. Published 2022 Aug 25. doi:10.1186/s13223-022-00719-6

目的

mRNAワクチン（ファイザー）接種による抗体価は、経口ステロイドで低下するが、吸入ステロイドの影響はまだ明らかになっていない。

方法

後顧的調査。2021年10月1日から12月28日までに新型コロナ未感染者で、ファイザーワクチン2回接種完了者320名（うち205名が吸入ステロイド使用者）の新型コロナウイルススパイク蛋白に対する抗体価を測定した。

結果

★吸入ステロイド使用者の抗体価は非使用者よりも有意に高かった（572 U/ml対454 U/ml、 $p=0.00258$ ）。★★喫煙者（対非喫煙者）、女性（対男性）、65才以上（対64歳未満）者の抗体価は、それぞれ、315.5対582、385対682.5、425, 5対717 U/mlと有意に低かった。多変量解析では、女性と65才以上が有意な抗体価低下因子だった。松崎追加：多変量解析で喫煙者は非喫煙者より抗体価が低い傾向が見られた：オッズ比0.598 (0.355–1.010)、 $p = 0.0526$) が、ピアソン相関係数解析★★★ではブリンクマン指数が増えるほど抗体価が有意に低下していた。

結論

吸入ステロイド使用者では、mRNAワクチン接種による抗スパイク蛋白抗体価の低下は見られなかった。新型コロナパンデミック中も、気管支喘息上必要な吸入ステロイド治療は継続すべきである。

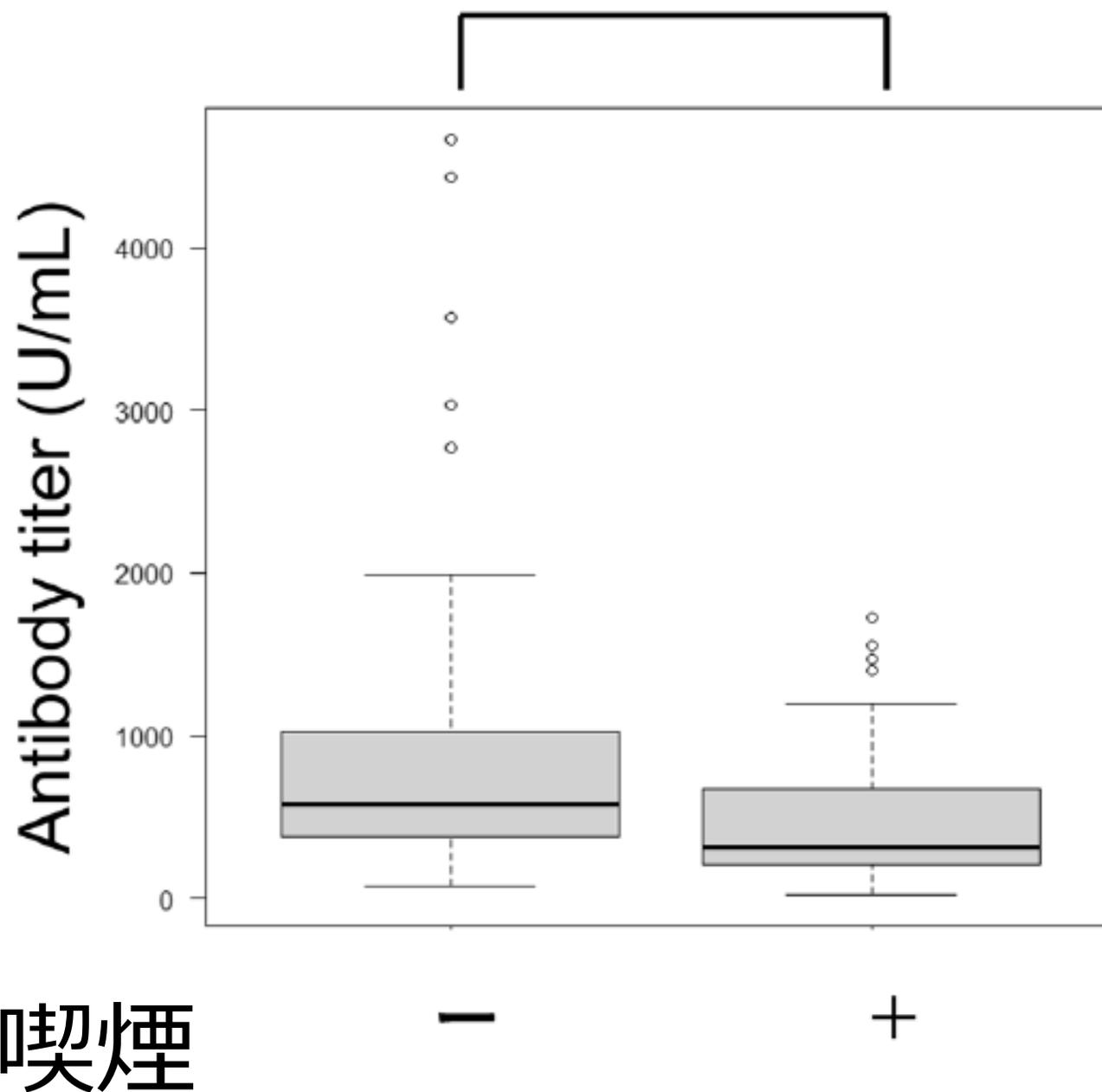
Table 2 ★抗体価に影響する因子別オッズ比（多変量解析）

| | Odds ratio (95% confidence interval) | P value |
|------------|--------------------------------------|---------|
| 吸入ステロイド使用 | 1.040 (0.668–1.610) | 0.868 |
| 喫煙あり | 0.598 (0.355–1.010) | 0.0526 |
| 男性であること | 0.363 (0.230–0.569) | 0.0001 |
| 65才以上であること | 0.434 (0.287–0.654) | <0.0001 |
| 咳喘息あり | 1.570 (0.980–2.510) | 0.0613 |

★★喫煙者は非喫煙者よりも有意に抗体価が低かった

B

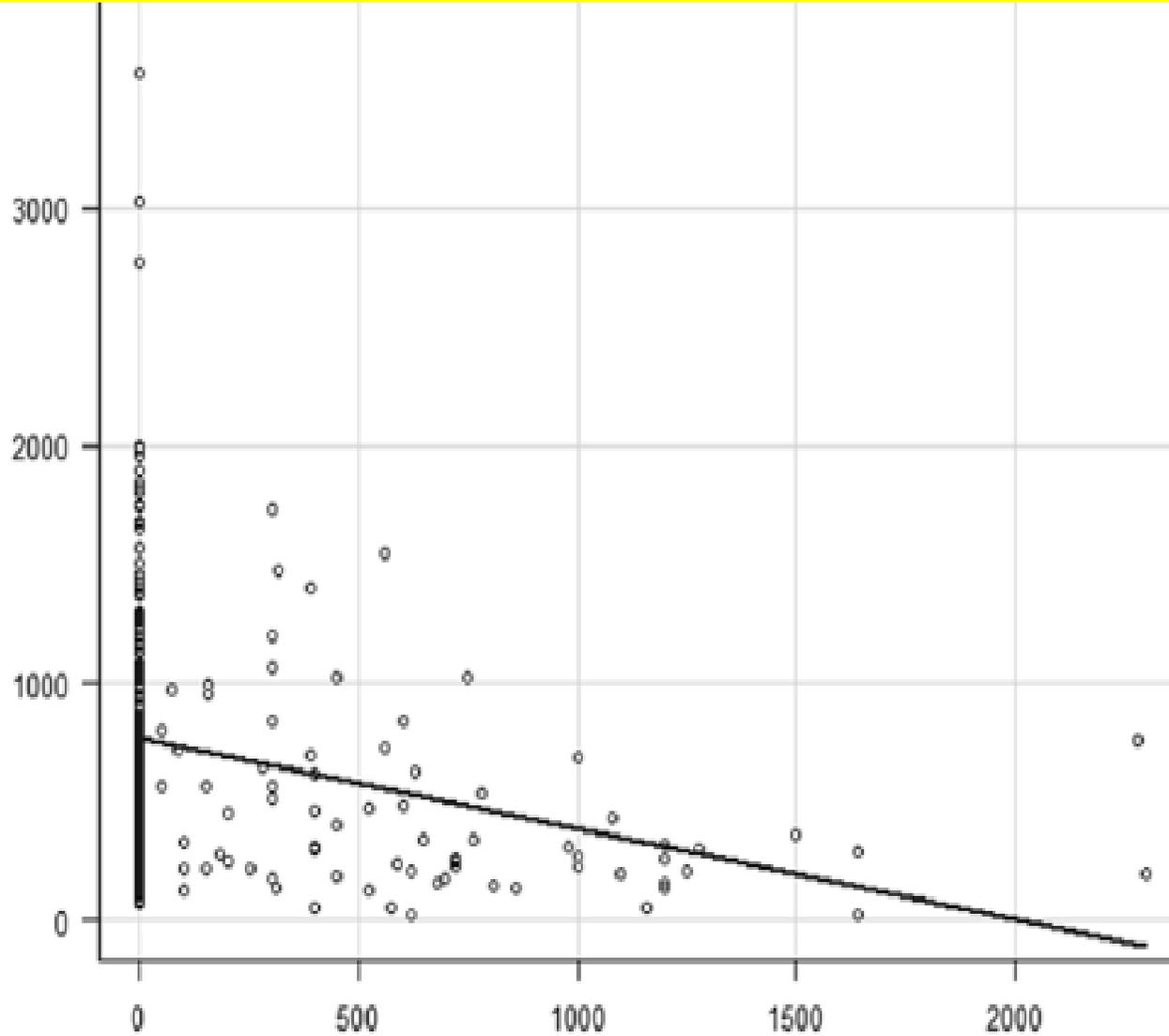
$P < 0.001$





喫煙量・年数が増えると有意に抗体価が低下していた

Antibody titer (U/mL)



ブリンクマン指数 (喫煙本数/日×喫煙年数)

日本の新型コロナウイルス感染者数推移（検査診断ベース）

